

5 長浜ならではの地域魅力と住み良さを高めます

三成クーポン券発行事業
292万円

観光客をはじめとする来訪者の消費を促すため、プレミアム付き商品券を約3,500冊販売し、1,154万円の経済効果が生まれました。同時に、石田三成公生誕の地としての情報発信を行うことで、観光誘客を促進し、地域経済の活性化につながりました。



中心市街地活性化推進事業
3,000万円

まちづくりの総合的なマネジメントを行うまちづくり会社を官民共同で設立しました。中心市街地活性化のための具体的事業が進んだことにより商業観光都市としての魅力がさらに向上しました。

歴史的風致維持向上計画策定業務
149万円

破損の著しい大通寺の建造物（市指定有形文化財）や曳山の山蔵（県指定有形民俗文化財）等の保存修理にあたって、国の財政支援が受けられるなど、歴史的・文化的資源を活かしたまちづくりを推進する体制が整いました。

6 環境に気づかい、自然を守り育てるまちをつくりま

竹生島保全対策事業
1,539万円

急速に増加したカワウによる竹生島の自然環境被害を防ぐため、追い払いを行ったほか、銃器による捕獲業務を33日間行い、4,421羽を捕獲しました。

▲竹生島

地球温暖化防止対策奨励事業
374万円

自然エネルギーの普及、エコライフへの転換を促進するため、太陽光発電システムを設置された住宅（22件）、ペレットストーブを設置された人（2件）に補助金を交付しました。



▲ペレットストーブ

不法投棄対策パートナーシップ事業
4万円

自主的な不法投棄対策活動を行っている自治会等とパートナーシップ協定を結んで事業を進めることで、市民の皆さんと力を合わせて快適なまちづくりを進めました。

平成21年度長浜市はこんなことに取り組みました

「長浜市基本構想」に定められた8つの戦略テーマに分けて、平成21年度に実施した主な事業について紹介します。

7 市民の誰もがいきいきと活躍できるまちをつくりま

地域振興イベント事業
1,356万円

地域振興や商業振興を目的として、旧地域ごとに特色ある祭り（とらひめまつり、小谷城ふるさと祭り、水とロマンの祭典、観音の里ふるさとまつり、木之本地蔵縁日、西浅井水運まつり）を開催し、市民の交流を深め、活気あるまちづくりができました。



▲木之本地蔵縁日



▲小谷城ふるさと祭り

8 未来を支えるたくましい経済基盤をつくりま

長浜駅周辺整備事業
1億2,678万円

駅前広場のリニューアル（東口）により、路線バスやタクシー、自家用車等の交通混雑の緩和を図るとともに、快適な歩行空間を確保し、バリアフリー化を推進しました。また、アクセス道路の整備（西口）に向けた準備を進め、誰もが使いやすい駅とするための基盤整備を行いました。



▲長浜駅東口

有害鳥獣捕獲事業
237万円

鳥獣による農作物の被害を軽減するため、地域で実施される追い払い支援に加え、捕獲による駆除を実施し、カラス、イノシシ、サル等を捕獲しました。また、長浜市鳥獣被害防止対策協議会を設立し、鳥獣被害防止計画を策定しました。

中小企業緊急対策事業
7,009万円

地域経済の安定化に向けた取り組みとして融資に伴う信用保証料補助や市内の建設産業及び商業関係への民間需要を喚起するための住宅改修奨励金、雇用の維持に努力される事業主の負担軽減を図るなどの緊急対策事業を行い、市内の経済・雇用労働・市民生活の安定を図ることができました。

1 住民自治を確立します

日韓友好交流年事業
984万円

平成21年度を「日韓友好交流年」と位置づけ、朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会高月大会を開催するとともに、日韓友好ミュージカルなどを開催しました。



▲朝鮮通信使再現行列

地域づくり活動事業
606万円

地域づくりアドバイザーの派遣や、地域リーダー養成塾を開催しました。上草野地区で、新たに「地域づくり協議会」が設立され、設立地区は12地区となりました。

姉妹都市交流事業
878万円

ドイツ・アウグスブルク市と姉妹都市提携50周年を記念し、使節団を迎えるなど、市民参加のもと官民協働による事業を実施しました。



▲来浜したアウグスブルク市代表団

2 安全で安心して暮らせるまちをつくりま

地域防災対策事業
8,147万円

火災発生時に消防団が確実な消火活動を行えるよう老朽化した消防自動車（1台）の更新を図り、消防水利の確保のために、耐震性貯水槽（7基）を整備しました。また、自治会が必要な防災用資機材の整備補助を行いました。

インフルエンザ菌b型（Hib=ヒブ）ワクチン接種助成事業
225万円



乳幼児に重い細菌性髄膜炎を引き起こすインフルエンザ菌b型（ヒブ）の感染予防を図るため、ワクチン接種の接種費用を助成し、経済的負担の軽減とヒブに対する関心を高めました。

発達支援センターの開設
781万円

発達に課題のある児（者）の社会的自立をめざした支援をするため、長浜市発達支援センターを設置（東別館6階）し、保健・医療・子育て・教育等の事業を連動させて支援を図りました。

3 子育てと学びの環境を充実させま

(新)神照幼稚園整備事業
6億1,769万円

神照幼稚園と神照東幼稚園の両幼稚園を統合し、安心していきいきと学べる教育環境の充実を図りました。



▲天然芝の園庭（(新)神照幼稚園）

小学校改築・耐震補強・大規模改修事業
1億6,888万円+(H22予算)14億958万円

安全安心な学校づくりと教育環境の充実を図り、災害時の避難場所としての強化を図るため工事に着手しました。（高時小、虎姫小、伊香具小体育館、塩津小、永原小）

学力向上対策事業
4,023万円

子どもたちに確かな学力を身につけさせるために、小中学校に臨時講師を派遣し、個に応じたきめ細かな指導を行いました。

4 若い人たちが定住できる環境を整えま

放課後児童クラブ運営事業
9,685万円

保護者の就労や疾病等により家庭の十分な保護が受けられない児童に、安全な遊び場と生活の場を提供するために、放課後児童クラブ（公設12か所、民間委託3か所）を開設しました。

認定こども園の開園
893万円

平成21年4月から3つの認定こども園を開園しました。（六荘認定こども園、あざい認定こども園、びわ認定こども園）

妊婦健康診査費の「全額公費負担」
9,105万円

妊婦の健診については、全額公費負担とし、妊婦や胎児の健康確保を図りました。



問 財政課 (☎65-6506)